

みずほCustomer Desk Report 2022/06/20号(As of 2022/06/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	133.27 AUD/USD
TKY 9:00AM	132.40	1.0548	139.51	1.2344	0.7041
SYD-NY High	135.42	1.0560	141.95	1.2357	0.7051
SYD-NY Low	132.17	1.0445	139.47	1.2174	0.6898
NY 5:00 PM	134.94	1.0495	141.63	1.2220	0.6936

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,888.78	▲ 38.29	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	10,798.35	152.25	日本10年債	0.2200%	▲0.0300%
S&P	3,674.84	8.07	米国2年債	3.1680%	0.0705%
日経平均	25,963.00	▲ 468.20	米国5年債	3.3419%	0.0576%
TOPIX	1,835.90	▲ 31.91	米国10年債	3.2294%	0.0352%
シカゴ日経先物	25,995.00	330.00	独10年債	1.6595%	▲0.0405%
ロンドンFT	7,016.25	▲ 28.73	英10年債	2.4930%	▲0.0215%
DAX	13,126.26	87.77	豪10年債	4.1280%	0.0100%
ハンセン指数	21,075.00	229.57	USDJPY 1M Vol	12.47%	▲3.37%
上海総合	3,316.79	31.40	USDJPY 3M Vol	12.40%	▲1.56%
NY金	1,840.60	▲ 9.30	USDJPY 6M Vol	11.78%	▲1.09%
WTI	109.56	▲ 7.26	USDJPY 1M 25RR	▲0.77%	Yen Call Over
CRB指数	309.08	▲ 8.09	EURJPY 3M Vol	12.93%	▲1.46%
ドルインデックス	104.70	1.07	EURJPY 6M Vol	12.49%	▲0.89%

東京	東京時間のドル円は132.40レベルでオープン。オープン後は米長期金利上昇の流れにドル買い優勢の展開。正午前に日銀が金融政策維持を発表すると、ドル円は上下2円を超えて乱高下した。その後は午後3時半からの黒田日銀総裁の会見を前に134.00を挟んで方向感を欠いた推移が続き、134.05レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は134.05レベルでオープンし、東京時間で円が売られた流れを引き継ぎ、一時134.92まで切り上げ134.72レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日のスイス中銀のサプライズな利上げ発表を受け、日銀も引き締めが発表されるとの思惑も一部ある中、金融政策とフォワードガイダンスが据え置かれたが、声明文にこれまでなかった為替に関する表記があり、為替介入の思惑に一旦円が急速に買われ132.42までドル円が急落する局面もあったが、黒田日銀総裁のYCCに限界が生じていることはない等、超緩和姿勢継続を受け、円が大きく売り戻され、また米金利上昇を受けたドル買いも加わり、134.72レベルでNYオープン。朝方はパウエル議長の2%の物価目標に戻すことに非常に強く重点を置いているとの発言を受け米金利が上昇する中、米5月鉱工業生産は予想を下回ったものの、ハト派で知られるカシカリ・ミネアポリス連銀総裁の7月に追加の75bpの利上げを支持する可能性があるとの発言を受け、米金利が更に上伸する展開にドル円は135.42まで戻す。その後は来週月曜が米祝日となり、米金融市場が休場となることから調整から米金利が落ち着く展開にドル円も134.86まで反落し。終盤に掛けては135円付近での推移が続き、134.94レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル買いが優勢となったことから1.05を下抜けし、1.0487レベルでNYオープン。NY市場でもパウエル議長やカシカリ総裁の発言を受けドル買いが継続したことから1.0445まで下落する。午後は調整から米金利が落ち着く展開にユーロドルは1.0502まで戻し、1.0495レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・小野崎

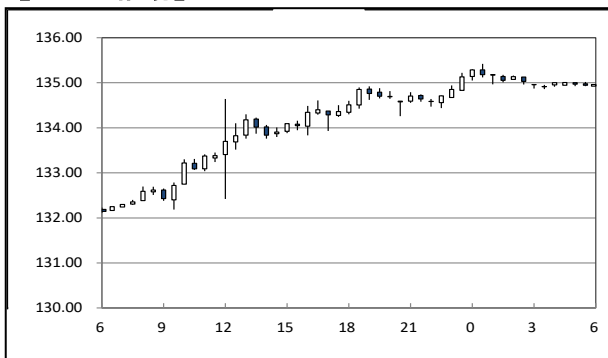
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月17日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	5月 8.1%/0.8%	8.1%/0.8%
	18:00	欧 コアCPI・確報	5月 3.8%	3.8%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.2%	0.4%

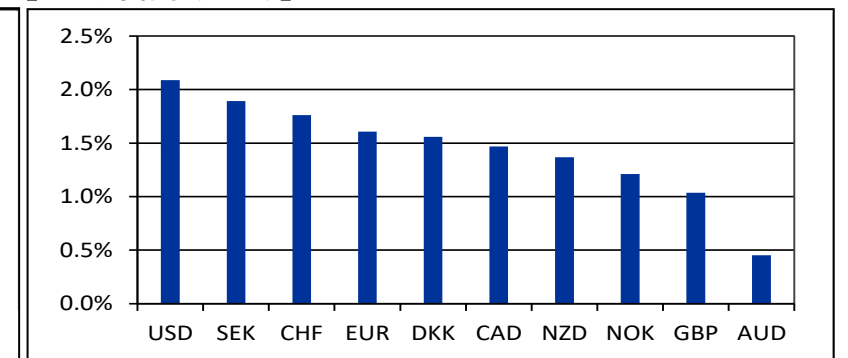
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月20日	16:30	欧 ビスコ・イタリア中銀総裁 講演	-	-
	17:00	英 ハスケルBOE委員 講演	-	-
6月21日	01:45	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-136.00	1.0400-1.0650	141.00-143.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は132.40レベルでオープン。日銀の金融政策決定会合で緩和継続が決定されたと伝わるとドル円は急伸し、その後の声明文で為替介入の思惑から急落するなど乱高下した。「YCCに限界が生じていることはない」と黒田総裁は緩和姿勢を強調したことに加え、NY時間にはFRBがインフレ対応に無条件でコミットするとのタカ派姿勢を示したことやハト派のFRB高官も7月の75bp利上げを支持するなど、ドル買い優勢の展開に弾みが付いた。米金利上昇の流れにドルも買われ、134.94レベルでクローズした。本日のドル円は底堅い推移を予想する。先週はFRBだけでなく各国中銀が利上げに舵を切る中、日銀の金融緩和姿勢のみが浮き彫りになった。ドル円上昇の流れは前日に一服感を見せているものの、円買い材料は特段無く、じり高の展開となるだろう。NY休日で薄商いの中、ブラードセントルイス連銀総裁の講演でタカ派姿勢が示されれば、ドルは一段と買われそうだ。